

## 文学部学生・教員懇談会概要

1. 日 時 平成23年10月18日(火) 12時10分から12時50分まで

2. 場 所 法経学部第一会議室

3. 出席者 学生：21名

学部：17名

山田学部長、三井学生委員長、佐藤学生委員会教員学生懇談会担当、木村学生委員、岡部学生委員、米村留学生委員長、菅野留学生委員、高留学生委員、チルトン留学生委員、高木日本文化学科学科長、吉田教務委員長、上村広報委員長

鈴木文学・法経学部事務長、酒井学部学務グループ専門員、久保学部学務グループ係員

本部：8名

齋藤学長、千々岩教務課長、佐藤図書館情報サービス課長、堀切教務課副課長、塚瀬教務課副課長、増田学生支援課副課長

4. 概 要 進行は佐藤学生委員が行い、学長から挨拶があった。

学生からの意見、要望は次のとおり。

Q ネパールの留学生です。一昨日稲毛区民祭に千葉大学の留学生として参加した。区役所としては千葉大学、千葉経済大学、敬愛大学の3大学と連携して何かやっというところの話が進められている。大学としても地域の人達と触れ合っていくそういう場を作っていただければ行動しやすい。大学は積極的ではなく、留学生同士の交流の場もあまりないと感じている。いろいろの国の留学生が横断的に話し合える場をぜひ設けて欲しい。

(留学生 人文社会科学研究所博士後期課程3年)

A 文学部学生委員会と留学生委員会の合同の「学生と教員との懇談会」であるが、ただ人文社会研究科も文学部の教員が関わっている組織なので、大学院生からもそういう問題を学生企画としては提案してもらうことは良いことだと思う。(三井学生委員長)

A 了解しました。稲毛区のイベントなどももう少し見える形で積極的に声をかけていき、さまざまな情報を収集し、周知する。また、国際交流室を活用するなど考えていきたい。

(米村留学生委員長)

Q 前期の懇談会で留学生向けの奨学金募集の掲示について、学部でも掲示して欲しいと要望したが、その後どのように改善されたのかをお聞きしたい。

(留学生 行動科学科 3年)

A 留学生課から文学部にきた情報は速やかに掲示するようにしている。センターと同様に部局でも掲示をしているが、今後も積極的に情報を告知する。(米村留学生委員長)

Q 日本文化学科から3点要望と意見がある。1点目は学科に蔵書している資料について、図書館で蔵書検索しても、学科のどこにあるのか、どこの資料室にあるのかがわからない。学科の資料室にある蔵書については、学生が入力し整理しているが、図書館は利用しやすくなる措置としてどのようなことを考えているのか教えて欲しい。

(日本文化学科 3年)

Q 図書館の窓口で蔵書がどこにあるのか把握して欲しい。(日本文化学科 3年)

A 学部、学科における図書の管理問題であるが、検討をします。また、カウンターで相談する中で解決していきたい。(佐藤情報サービス課長)

Q 2点目は授業のシラバスについてお聞きしたい。資格系・認定科目系の授業と専門教育科目の演習科目の授業が重複している。火曜日2時限などに偏ってしまっているので、資格系の科目が被害を被っている。シラバスの組換をするなどの改善が必要である。例年このような問題が出ているが、改善されていないので解決して欲しい。

(日本文化学科 3年)

A シラバスで資格系科目・認定科目系と演習系科目が重なりやすいというご指摘だと思うが、教務委員会では各学科に対して対応が可能な範囲で、必要な指導を行っていききたい。来年度に関しては、既に火曜日2限の専門科目の多くは他の時限に移動してもらうことになっている。

(吉田教務委員長)

Q 3点目は文学系の資料が図書館の4階に固まっており、その都度コピー機のある1, 2階へ運んでコピーしている。日本文化学科では大量に資料をコピーする必要があった場合は不便であるので、4階にも設置して欲しい。

(日本文化学科 3年)

A コピーは管理の問題があり、現状では職員の目の届かない場所だと管理できない。そのため4階は難しい。

(佐藤情報サービス課長)

Q 他の学科・講座の学生がどのような勉強しているのかわからないので、全体の卒業論文発表会を実施するなど、他の学科の内容を知る機会を設けて欲しい。

(行動科学科3年)

A 文学部として卒論の発表会を実施できるかどうか検討していきたいが、その際はぜひ参加して欲しい。

(山田学部長)

Q 前期の懇談会の検討結果などが公表されていないのではないかと。また、施設の改修工事についての情報が学生に周知されていない。施設を利用するうえで不便である。

(史学科3年)

A 前期の懇談会の結果は広報委員会の方から、文学部HPに掲載している。前期については回答が遅くなったので、後期については早くHPで回答できるようにする。

(佐藤学生委員)

A 改修工事の情報については関係部署に話をしたうえで、検討する。(千々岩教務課長)

Q 大学の一斉メールについて、その内容が知りたい情報以外のものが多く、本当に知りたい情報が埋もれてしまっている。ロッテマリーンズの情報とかは必要ない。

(史学科3年)

A どういうところから、どんなメールが届いているのかを調べる。(千々岩教務課長)

一斉メール配信は、多数の学部学生、大学院生及び研究生等の皆様に対し、大学からのお知らせ等のメールを統合メールアドレス宛に一斉配信することにより、短時間で効率的な連絡を可能とするものとして平成19年11月29日から運用が開始されております。

なお、千葉ロッテマリーンズのご案内については、千葉大学と千葉ロッテマリーンズが、平成18年4月11日に連携協力に関する協定を締結し、両者の発展及び地域における学術、文化、スポーツの発展を通じて地域の振興を図るために協力することとなっております。招待券と特別優待のご案内は、同協定の趣旨に鑑み、より多くの教職員及び学生の皆様にお知らせするため一斉メールにより配信しておりますので、ご理解の程お願いいたします。(教務課)

Q 成績表の配布が後期の授業開始直前にならないと配布してもらえない。教員免許を取得するため早めに必要とする人、後期の時間割を組むうえでも必要なので、成績表を早く通知して欲しい。(史学科3年)

A 作業日程に余裕が無く、さらに修正等を含めたうえで成績表を作成することで、どうしても取りまとめに時間がかかり配布時期が遅くなってしまうことになるが、教務委員会で検討していきたい。(酒井学部学務グループ専門員)

- ① 現状では、授業期間外（特に夏休み）に多くの集中講義が行われている。その講義を担当する教員からの成績報告を待つ必要があること。
- ② 教員からの成績報告がひと通り出そろった段階で、大学側において修得単位の確認作業を行っていること。
- ③ 学部学務グループでは、入学試験や入学手続に関する事務、卒業式に関する事務等を行っている。それらの事務が一通り終了した後でないと、窓口で成績通知表を配付する準備が整わない。

上記の3つの理由により、配付開始日をこれまでよりも早めることは難しい。ただし、年度末において、卒業単位がしっかりと修得できているか、気になる4年生は多数いると思われる。4年生の成績通知表については、2月末～3月上旬ごろに、学部学務グループの窓口において、前倒しで配付できるよう、検討を行っている。具体的な配付時期が決まったら、再度掲示でお知らせする。(文学部教務委員会)

Q 史学科に史学演習室があるが夏休みに行ったら、鍵が閉まっていた。別の部屋も午後7時頃に鍵をかけられてしまったので、学生が利用できる部屋を増やして欲しい。史学科の部屋は史学科学生には使用させてもらいたい。(史学科3年)

A 夏休みについては早く部屋を閉めることにしていた。研究熱心なのは歓迎するが、遅くまで1人で残ることは危いので、早く帰って欲しい。(山田学部長)

Q 普遍教育の英語の授業内容が役に立たない実力がつくような実用的な内容の授業にして欲しい。(史学科3年)

A 言語教育センターの担当教員に意見を伝えます。(菅野留学生委員)

Q 集中講義の日程を履修登録の期限までに間に合うように決めるようにしてもらいたい。また、あらかじめシラバスに載せて欲しい。(行動科学科2年)

A 日程を早く決めるように各学科を含め学部全体に指導していく。(吉田教務委員長)

集中講義の日程がより早く確定できるよう、担当教員に対し、文学部教務委員会から必要な働きかけを行う。ただし、授業をご担当いただく非常勤講師の予定がなかなか確定しない場合もあり、その場合は、どうしても日程の周知が遅れてしまうことになる。このよ

うなケースに対しては、WEB履修登録期間外であっても、一定期間内に申し出れば、履修登録の追加・削除を認めるよう、配慮していきたいと考えている。文学部履修案内の集中講義記載欄に、印刷時に判明する情報を記載することにした。それに間に合わない場合はWEBシラバスに決まり次第掲載する。(文学部教務委員会)

Q コピーポイントの授業が導入されたが、事前に資料を用意するのが大変である。  
(行動科学科2年)

A 教員が学生に資料を印刷させてすませようとすることに問題がある。(山田学部長)

Q 文学部にも自動販売機を設置して欲しい。(行動科学科2年)

A 生協が近くにあるので歩いて欲しい。(山田学部長)

Q 史学科でいろいろな分野の授業を開講して欲しいとの要望がある。また、今の水準を維持して欲しい。(史学科2年)

A 史学科学科会議で検討する。(佐藤学生委員)

Q 時間割に偏りがあり、履修したい科目がとれないので、履修できるようにして欲しい。  
(史学科2年)

A 時間割に偏りがあるのは事実なのでより強い指導をしていきたい。(吉田教務委員長)  
このようなバッティング(具体的には日本語教育関連科目と日本語学との重複)がなるべく生じないように、教務委員会や各学科で必要な検討を行っていきたい。(文学部教務委員会)

Q 史学科の3つの資料室の名称が異っているので統一してもらいたいこと。表示プレートも付けて欲しいこと。耐震面での配慮もお願いしたい。(史学科3年)

A 名称は変更しても差し支えないが、ほんとうにそれで良いのか。年代を反映させているので残した方がよいのではないか。(山田学部長)

A 資料室についても耐震補強を行っている。(山田学部長)

Q 資料室を大学院生が独占して使用しているので、学部生にも使用できるようにして欲

しい。(史学科3年)

A 資料室の使用については個人的に大学院生に相談することで交渉力を高めること。断られたら私に相談して欲しい。(山田学部長)

Q 図書館の資料検索では、蔵書箇所がわからない。研究室と利用者との仲介をして欲しい。(史学科3年)

A 組織替え、教員が交代する場合がありますと、本も移動してしまいどこにあるか分からなくなっている。移動したら、その旨を図書館に報告する必要がある。事後にそれを行なうには人件費と手間がかかり、このような場合には様々な知恵を出し合う必要がある。(三井学生委員長)

A 配架については学部・学科と相談していきたい。いい提案をお願いしたい。(佐藤情報サービス課長)

Q 長期休暇中についても、開館時間を延ばして欲しい。(史学科3年)

A 過去の利用者数についての実績を調査したうえで検討していきたい。(佐藤情報サービス課長)

Q 図書館の部屋の電気を4:45前に消すのはやめて欲しい。

A 了解した。(佐藤情報サービス課長)

最後学長からシラバスを作成するときに、オブザーバーとして学生が参加できるような仕組みにしてはどうかという提案があった。